

首都圏在住者 大野魅力学ぶ



「越前おおのみずコトアカデミー」で大野への関心を寄せる参加者たち＝大野市のナマケモノカフェで

現地実習スタート

首都圏在住者に大野市への関心を寄せてもらい、将来的な移住定住につなげる「越前おおのみずコトアカデミー」の現地実習が十日、同市内で始まった。首

都圏在住者が十二日まで市内に滞在し、名水巡りや地域づくりに励む市民の講話を通して大野の魅力を学ぶ。

アカデミーは、大野市と

地域コミュニティー情報を発信する雑誌ソトコトを発刊する木楽舎（東京都）による地方創生事業の一環。これまでに二回、東京都で講座が開かれ、大野の豊かな水資源を生かした暮らしや地域づくりなどを紹介している。現地実習には首都圏から男女十人が訪れた。

参加者たちは、大野市篠座町の古民家を改修し、ゲストハウスとしても使われている「ナマケモノカフェ」を見学。また、エコグリーンツーリズムなどを展開し、移住や定住に関する助言などを行っている「奥越前まんまるサイト」の坂本均所長が、自然体験などを通して大野の魅力をアピールした。

十一、十二日は、しょうゆ蔵の見学や農家訪問、鮮魚店での飲食などを体験し、大野の伝統や文化に触れる。

（藤井雄次）